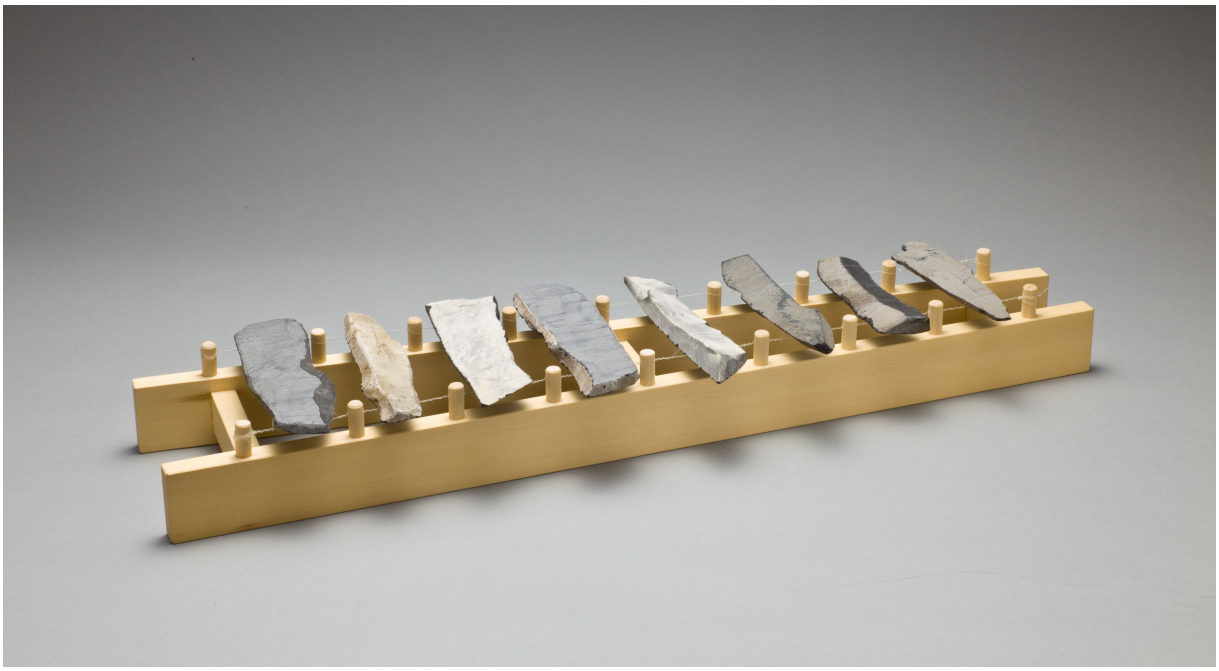
京都教育大学 教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品

NO.08 2015.11

京都市伏見区深草藤森町1
☎：075-644-8840/8175
✉：manabi@kyokyo-u.ac.jp
MUSEUM OF EDUCATION

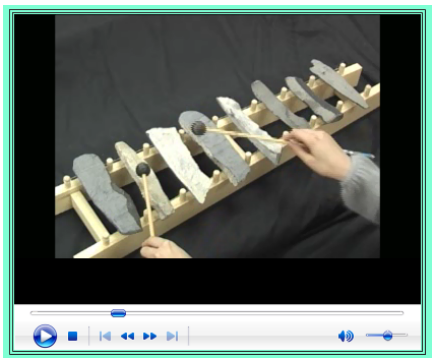


石琴（サヌカイト）

800 ㎜ ×190 ㎜ ×95 ㎜

サヌカイトを用いて作製された石琴。石琴とは、岩そのものや板状に加工した岩を並べ、それを打ち鳴らして演奏する楽器のことで、有名なものとしては、37 本の鍾乳石を使って作られたアメリカヴァージニア州のものがある。京都教育大学が所蔵する石琴では、板状に加工されたサヌカイトを８本、木琴のように丈夫な糸の上に並べ、ドレミファソラシドの音階を出すようになっている。サヌカイトは、香川県（讃岐）坂出市国分台や大阪府と奈良県とにまたがる二上山で採取される安山岩の一種で、その硬さは鉄以上であり、たたいた時の音からカンカン石ともいわれる。その音色の美しさから楽器としても利用され、1964 年の東京オリンピックの開会式に使われたことでも有名である。この資料は、サヌカイトを専門に扱う香川県高松市の業者「扇誉亭」から購入した。石琴を用いて演奏している様子は、学校現場の補助教材として京都教育大学が提供している WEB 教材「授業のたね」（音楽・身近な音具たち）を通して見聞きすることができる。

http://kyoushien.kyokyo-u.ac.jp/taka/main_page.html



WEB 教材「授業のたね」